

第38回『探究ナビゲータ講座 基礎編』@東京 開催のご案内

◇20年以上の「探究型の学び」の実践経験

ラーネット・グローバルスクールでは、1996年の開校以来一貫して、出る杭を伸ばす探究型の学びを実践しています。いわゆる「先生」は、子どもたちの探究的な学びをナビゲートする役割なので、「ナビゲータ」と呼ばれています。もしかしたら、一般的な「先生」の関わりとはちょっと違うかもしれません。

では、ラーネットのナビゲータは、どのようなことを考え、どのように子どもたちに接し、子どもたちの成長を支援しているのか？

その質問に答えるために、開校以来20年以上の時間をかけて、探究の現場で積み上げてきた知識と経験を、積極的にお伝えする場が、探究ナビゲータ講座です。すでに600名を超える参加者の皆さまからの好評を得て、地元神戸だけでなく東京などでも定期的に実施するようになりました。



◇正解はないが、セオリーはある！

「自分の子ども（あるいは部下）にやる気を出してもらいたい、成長してもらいたい、そのためにはどのように接すればいいのだろうか？」という課題は、多くの方々にとって身近なものだと思います。しかし「勉強しなさい」と命令せずに、子どもが勉強するような接し方などあるのだろうか？あるいは、手伝いすぎずに本人が成長するようなやり方があるのだろうか？」という疑問が湧きます。

私たちはラーネット・グローバルスクールで、一人ひとりの子どもたちをつぶさに観察し、彼らの学習意欲を高める接し方について長年研究・実践してきました。接し方をどう考えればよいかという方法論、それを「ナビゲーション」と呼び、みなさんがそれぞれ現場で実践できるようにプログラムされた講座が、探究ナビゲータ講座です。

おかげさまで大変ご好評をいただいております、このたび38回目の基礎編講座を東京にて開催いたします。2日通して実施する密度の濃い講座で多くの気づきがあり、参加された方の満足度は100%です。参加された方同士のその後のつながりも広がっています。「学習意欲を高める接し方」について問題意識をお持ちの方には是非ご参加いただきたいお勧めの講座です。保護者の方々や教育関係者に限らず、学生、一般の方々など、どなたでも参加いただけます。

- * 参考図書；『第3の教育—突き抜けた才能は、ここから生まれる』炭谷俊樹著（角川書店）
- * ラーンネット・グローバルスクール ホームページ： <http://l-net.com>

要領は裏面の通りです。どうぞ万障お繰り合わせの上ご参加ください。

- ① 対象者: ・ナビゲータになりたいと考えている方
 ・親として子どもの接し方を思案している方
 ・教師として子どもへのアプローチ方法を模索している方
 ・企業・団体でスタッフ育成に関わっている方
 ・その他、ラーンネットのナビゲーションの考え方に興味をお持ちの方
- ② 講座内容: ・「ナビゲーション」とは何か、「第3の教育」とは何か、という基本概念を知ります。
 ・ワークショップを通じて、「人や自分について知る」ための観点やアプローチについて体験します。
 ・ラーンネットでの実例・事例を題材としたディスカッションを通じて、ナビゲーションの考えに基づいた主体的な問題解決方法を習得します。
- ③ ナビゲータ: 炭谷俊樹（ラーンネット代表）ほか
- ④ 日程: **2018年11月24日(土)～25日(日)** 2日間 ※宿泊はありません
 (1日目 10:30 講座開始 21:00 終了、2日目 9:00 開始 16:00 終了予定)
- ⑤ 場所: 東京コミュニティスクール
 (〒164-0001 東京都中野区中野 1-62-10)
- ⑥ 受講料: **39,000円**
 ※懇親会費(4,000円)を合算した費用となります
- ⑦ 募集定員: 16名
- ⑧ 申込〆切: **2018年11月9日(金)** ※定員になり次第締切りますのでお早めに!
- ⑨ 申込問合せ: tel: 078-436-8575 mail: navi@l-net.com (担当: 藤原)
 参加申込の方には詳細をご案内しますので、氏名、連絡先(メールアドレスまたは電話番号)をお知らせ下さい。



～ 第36回講座参加者の声 ～

- ・この講座は実践が中心で、実践ならではのノウハウやヒントをたくさん蓄積されているので、ひとつひとつ説得力もあるし、勉強になりました。どのワークもリアルな感じがあって良かったです。(会社員女性)
- ・知る・感じるのワークでは、人を知るとともに、人から見える自分を改めて知ることができました。参加者の皆さんがとても意欲的かつ積極的で、色々なアイデアや意見交換ができ、議論できたのも良かったです(1児の母)
- ・最初は戸惑いがあったロールプレイですが、やってみると思った以上に感情が動かされ一番驚いた体験でした。今まで子ども達と対話する中で、気持ちを受け止めているつもりでも出来ていなかったと思う部分がありました。心から向き合って相手のこと(気持ち)を知ろうとする、共感することの大切さを本当に感じました。(保育士)